

渡辺ふじお

いつでも現場主義!

杉並区政報告 Vol.42



## 杉並区議会として、 ロシア連邦による ウクライナ侵略に対し 断固抗議する決議を可決採択しました。

ロシアによるウクライナへの侵攻と一連の非人道的な行動は、国際社会の平和と秩序の根幹を脅かす、明白な国際法違反であり、断じて容認できるものではありません。

多くの尊い生命が犠牲となっていることに、強い憤りを覚えます。

即時の攻撃停止と部隊の撤収を求めるとともに、一刻も早い事態の解決と、ウクライナに平和が戻ることを心より祈念します。

渡辺ふじお

### 杉並区では、ウクライナ避難民への ワンストップ相談窓口を設置しました。

相談窓口：杉並区文化・交流課（杉並区阿佐谷南1丁目15番1号 杉並区役所本庁舎西棟7階）

電話：03-3312-9415

時間：月曜日から金曜日（祝日を除く）午前9時から午後5時まで

相談内容：住居確保、子育て・教育、医療・健康維持、就労など、生活全般

杉並区交流協会は区と連携し、戦禍を逃れ杉並区に避難してきたウクライナの方々を支援するため「ウクライナ緊急支援寄付金」を募集しています。

- 一般財団法人 杉並区交流協会 TEL:03-5378-8833/mail:info@suginami-kouryu.org
- 日本赤十字社 「ウクライナ人道危機救援金」の義援金箱も区施設へ設置しています。

“第7波に備える”

日常生活を取り戻すために!

## 新型コロナウイルス感染症対策を推進

一昨年より続く新型コロナウイルスの感染は、一時収束に向かうと思われましたが、昨年末からのオミクロン株によって第6波が引き起こされました。

さらには感染力の高い「BA.2」ウイルスに置き換わりが進んでおります。

会派としても区内での初感染が確認されて以来、17回の緊急要望書を区に提出し、医療体制、在宅支援体制、ワクチン接種体制、検査体制などの強化や拡充を進めるとともに、生活支援や事業支援など、暮らしや経済活動への施策を推進させてきました。



### 今後の感染拡大に備えた杉並区の対策

#### 〇PCR等検査無料化事業の再実施

現在ワクチン接種を休止している桃井原っぱ公園仮設会場及び立正佼成会法輪閣の施設を活用するため、接種再開までの期間において、PCR等検査無料化事業を再実施しています。

実施期間 4月12日（火）から5月22日（日）

検査に関するお問い合わせ先：川崎重工業 PCRコールセンター

電話：0120-758-167（受付時間：午前9時～午後6時）

#### 〇杉並区の新型コロナワクチン追加接種（4回目）の体制確保について

国のワクチン供給準備の状況を踏まえ、まずは3回目接種を完了した60歳以上（3回目接種から5ヶ月以上経過）を対象に、6月の4回目接種開始を予定しています。

\*詳細は決まり次第、区報および区ホームページでお知らせされます。

杉並区議会議員 渡辺ふじお

杉並区政報告 (FDつうしん) Vol.42

昭和34年5月22日生まれ 62歳 大分県出身/東京農業大学卒業  
日産フィナンシャルサービスを経て、平成15年4月区議初当選/現5期  
区議会副議長、常任・特別委員会委員長等を歴任

自宅・事務所  
〒166-0015 東京都杉並区成田東 5-3-15  
TEL/FAX 03-5397-8799  
HP <https://w240.net>  
E-mail [info@w240.net](mailto:info@w240.net)

- 東京都宅地建物取引業協会杉並区支部顧問
- 杉並区陸上競技協会顧問



渡辺ふじお

いつでも現場主義!

杉並区政報告 Vol.42



## 杉並区新基本構想

# 「みどり豊かな 住まいのみやこ」

令和4年度予算が成立「新ビジョンスタート予算～希望に満ちた杉並の100年～」  
総予算額3,153億3,793万7千円（一般会計予算2,025億9,900万円）

## 10年後のユニバーサルデザインのまちづくり実現に向けて。区議会定例会で一般質問しました。

**Q** バリアフリー基本構想は「誰一人取り残すことのない」新たな杉並らしいユニバーサルデザインなまちづくりが実現できるものとしてほしい。

**A** 「あたりまえを」当たり前にする実効性のある仕組みづくりを考えていく。

**Q** 京王井の頭線久我山駅に区内初の鉄道駅ホームドア設置助成が計上されたが、事業内容は。

**A** 視覚障がいと知的教育の都立学校の最寄り駅として優先し、令和5年度の着工を予定。

**Q** ワクチンが承認された带状疱疹予防接種助成の有効性については。

**A** 現在、様々な検討がなされている国の審議会の議論の行方を注視していく。

障がい者、高齢化社会への対応だけでなく、共生社会、SDGs、Society 5.0など時代のニーズをとらえ、新たな杉並らしいユニバーサルデザインのまちづくりの実現を目指します。

視覚障がい者の駅ホーム転落事故から、障がい者団体の代表と国土交通大臣へ、区内全駅へのホームドア設置を要望してきましたが、ようやくその1歩を踏み出しました。

日本人の成人の90%以上は带状疱疹の原因となるウイルスが体内に潜んでいて、加齢などによる免疫力の低下が発症の原因で80歳までに約3人に1人が带状疱疹になると言われています。

**Q** 阿佐ヶ谷駅北東地域を新技術や各種データ活用をまちづくりに取り入れたスマートシティ構想を視野に入れたまちづくりを提案するとともに、現在実証実験を行っているIoT街路灯や新モビリティ等の活用の可能性を確認する。

**A** 防災対策で導入した街路灯をカメラ・センサーによるインフラへの活用や新モビリティ導入で、持続可能で多様性に富んだまちづくりに取り組む。

**Q** MaaS（様々な移動サービスをひとつの交通手段として統合させること）等やグリーンスローモビリティなどの新交通システム構築の方向性は。

**A** 新モビリティ活用に向け、実証実験の実施や、事業化に向けた取り組みを行っていく。

**TOPIX** 議会質問でも取り上げた、グリーンスローモビリティと次世代電動車いすの試乗会が荻窪の荻外荘公園とその周辺で行われました。グリーンスローモビリティは他の自治体でも導入され始めています。杉並区は、「誰もが気軽に快適に移動できる地域社会」の実現に向けた取り組みを進めています。区内で走る姿を見かける日も、そう遠くないかもしれません。



誰もが安心して快適に暮らせるよう、病院を中心に商店街や町会など地域でまちづくりを進めるための取り組みを応援したいと思います。

環境に配慮するとともに、交通弱者の移動環境を整備していかなければなりません。

### 特別養護老人ホーム入所待機者解消へ“10年間で1000床を達成!”

昨年12月、天沼3丁目に区内最大規模の特別養護老人ホーム「フェニックス杉並」（定員180名・ショートステイ36名）が開設しました。これで、平成24年に杉並区が掲げた整備目標の1000床が達成され、入所待機者の解消へ大きく前進しました。今後は施設介護だけでなく在宅介護も更に充実させる必要があります。



### 5年連続で保育待機児ゼロを実現!

杉並区は計画的に認可保育園の整備を進め、現在190カ所（10年間で約3倍）、定員14,747名（10年間で約2.7倍）となりました。より安心して子育てできる杉並を目指し、今後も「保育の質」を維持・向上させながら、「希望する全ての子ども」が認可保育園に入所できるよう必要な整備が進められます。



### 浸水被害地域での河川ライブカメラの映像配信が開始されました

2005年の豪雨被害を教訓に水防の一環として河川カメラ設置（静止画）を実現。その後、短時間で増水する河川の映像のリアルタイム化（動画配信）を提案し、昨年より配信開始となりました。特に浸水被害が頻発する善福寺川沿いの皆様には、上流部へ貯溜施設が完成するまでの浸水被害軽減の一助となれば幸いです。



### 電子地図情報「すぎナビ」がリニューアル

全国でもトップクラスの機能を持つ電子地図情報システムの「すぎナビ」が2014年7月に配信開始。その後、電子地図の利用ニーズも高まり、使い勝手の良いものにと改善を要望していましたが、4月1日より防災上の機能も見直されリニューアルされました。利便性が向上した「すぎナビ」をぜひ活用してみてください。

